

平成25年度施政方針関係施策(事業)の実績

平成25年度施政方針に掲げられた施策・事業の取り組み実績は次のとおりです。

年度末実績自己評価：○実施済、△一部実施済、×未実施等

◆保健福祉施策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課
①子ども医療費助成	小学校4年生から6年生までの通院費等で町独自に助成を拡充していますが、さらに今年8月診療分から中学生の通院費等を助成対象として拡大します。	中学校3年生までを対象に、入院・通院・調剤医療費56,471千円の助成を行いました。(平成25年8月診療分から、中学生の通院助成を開始。) (平成24年度) 子ども医療費助成額(扶助費)53,036千円(補助対象児2,400人/子ども総数2,872人) (平成25年度) 子ども医療費助成額(扶助費)56,471千円(補助対象児2,570人/子ども総数2,837人)	○	こども課
②保育の充実	待機児童は現在解消されていますが、引き続き私立保育園への保育委託を行うとともに、子育て中の家庭の「困った」を応援するため、中央保育園では満2歳から、岩橋保育園及び私立保育園では満6か月からを対象に一時保育を行います。また、町立保育園での英語指導を実施するなど保育の質の向上に努めます。	待機児童対策 私立保育園への保育委託 一時保育利用実績 中央保育園 2人/日(2歳以上) 73人(3月末現在) 岩橋保育園 3人/日(3歳以上) 212人(3月末現在) 英語指導の実施 実施方法：毎週年齢ごと 1回15分程度 保育園の入園児数(3月末現在) 中央保育園(町立) 48人(定員60名) 岩橋保育園(町立) 134人(定員120人) 昭苑保育園(私立) 64人(定員48人) 合計 246人(定員228人)	○	こども課
③放課後子ども事業の推進	放課後子ども教室は、地域の方々の協力により、児童の健全育成を図ります。また、放課後児童クラブの円滑な運営が図れるよう努めます。なお、ひとり親家庭への放課後児童クラブ利用料の助成を行います。	放課後子ども教室は、酒々井小学校28日、大室台小学校22日開催し、1日当たり平均して、それぞれ31人、72人の児童の参加がありました。 放課後児童クラブは、「酒々井小学校学童クラブ」43人、「大室台小学校学童クラブ」39人、「酒々井児童クラブ」64人の平均登録児童数でした。(定員50人)	○	こども課
④高齢者福祉施策の充実	高齢者を地域全体で支える「ともに支え合い・助け合う 地域の手」災害時要援護者名簿登録制度をさらに推進し、新規事業で、高齢者の熱中症予防対策として、75歳以上の方に冷感スカーフ等を配布します。	災害時要援護者名簿登録制度登録者の新規募集と登録情報の更新を実施しました。 登録者数 250人 冷感スカーフを配布しました。 配布人数 495人(H26.3.31現在)	○	健康福祉課

⑤生きがい デイサービス	生きがいのある生活を送ることで要介護状態への移行を予防することを目的に、隣保館と社会福祉協議会を会場に週3回の「生きがいデイサービス事業」を行います。	週3回実施 火曜日：社会福祉協議会 水曜日：隣保館 金曜日：隣保館 登録者：火曜日27人、水曜日27人、金曜日28人 延べ146回 述べ3,179人参加	○	健康福祉課
⑥心の健康 づくりの推進	老々介護など介護者の精神的、身体的な負担や悩みごと相談などを支援していく「心の健康づくり」を推進します。	地域包括支援センターにおいてお化粧品を通じた「化粧療法」及び共助の町づくりをテーマに「在宅介護かけはしの会」を開催しました。 参加者 延べ157人 第1回… 6月18日（火）参加者38人 第2回… 9月17日（火）参加者45人 第3回… 12月10日（火）参加者48人 第4回… 1月21日（火）参加者26人	○	健康福祉課
⑦介護ボランティアの 実施	高齢者自身の健康増進を図り、介護予防を推進するため、ボランティア活動を行う高齢者に対してポイントを付与する「介護支援ボランティア制度」を実施します。	平成25年6月12日（水）住民向けに制度説明会及び研修会を開催し、7月1日から登録受付及びボランティア活動を開始しました。 ・ボランティア受入事業所…町内7事業所 ・ボランティア登録者…27人 ・実活動者13人 活動日数 延べ239日 活動時間 延べ342時間	○	健康福祉課
⑧介護予防の 推進	介護予防の運動を中心としたチャレンジ教室を実施するほか、地域の自主的な介護予防活動サークルに講師を派遣します。	健康体操 22回実施 実61人 延べ370人 大人のためのバレエ教室 7回実施 実17人 延べ97人 健康太極拳 10回実施 実24人 延べ188人 あなたの元気応援団 24回実施 実42人 延べ260人 やさしいエアロビクス 28回実施 実65人 延べ420人 体カアップ教室 12回実施 実33人 述べ152人 カイロプラクテック 12回実施 実32人 述べ106人 初めてのヨガ 10回実施 実21人 延べ181人 刺スティックエクササイズ 17回実施 実64人 延べ291人 おいしく食べて歯ッピーになろう 5回実施 実15人 延べ63人 出前健康講座 3地区実施 43人 健康づくり講座全体 154回実施、実417人 延べ2,171人	○	健康福祉課

<p>⑨認知症施策の推進</p>	<p>認知症の人とその家族が安心して暮らしていける支援体制の取り組みを検討し、認知症施策の推進を図ります。</p>	<p>認知症を正しく理解し支援するため一般住民・役場職員を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催しました。 受講人数 208人 ・一般住民 8月2日(24人)、12月26日(15人) ・役場職員 10月2日(55人)、10月10日(47人)、10月24日(34人)、11月7日(33人)</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑩障害者(児)福祉の推進</p>	<p>障害者の生活を支援する障害者地域生活支援事業をはじめとした、各種保健福祉サービスの一層の推進を図ります。</p>	<p>障害者総合支援法に基づく、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具給付、地域生活支援事業を実施しました。 ・介護給付 延べ659人 ・訓練給付 延べ346人 ・自律支援医療 更生医療 延べ77人 育成医療 延べ9人 ・補装具 延べ17人 ・地域生活支援事業 ・相談支援 延べ1,186人 ・コミュニケーション支援 延べ27人 ・移動支援 延べ57人 ・日中一時支援 延べ665人 ・地域活動支援センター 延べ108人</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑪健康づくり施策の推進</p>	<p>各種検診、健康教育、健康相談等の事業を行います。なお、特定年齢の方に対する乳がん、子宮がん検診に加え、大腸がん検診の無料検診を行います。さらに、小学生を対象として、生活習慣病予防の啓発に取り組みます。</p>	<p>健康手帳の配布 435冊 健康教育 ・ヘルスアップセミナー10回実施 実24人 延べ191人 ・糖尿病予防教室 3回実施 実15人 延べ42人 健康相談 来所者 延569人、電話 延45人 乳がん検診(集団検診) 視触診224人 MMG人884 エコー99人 (個別検診) MMG36人 合計1,243人 子宮頸がん検診 集団検診682人 個別検診96人 合計778人 胃がん検診 1,354人 肺がん検診 1,858人 大腸がん検診 集団検診2,021人 個別検診50人 合計2,071人 肝炎ウイルス検診 129人 成人歯科検診 115件 骨 粗しょう症予防検診 223人 いきいきすいっ子教室 酒々井小88人 大室大小104人 合計192人</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>

◆教育 化施策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課
①特 有な幼児教育の推進	<p>かの特 有な幼児教育推進のため、私立幼稚園に補助金を、また、保護者には私立幼稚園就園 費補助金を交付します。</p>	<p>私立幼稚園就園 費補助金については、町内の幼稚園7園に対し、園児282人分、補助金額31,276千円を交付しました。 私立幼稚園運営費及び教材費補助金については、町内2園に対し運営費各20 円、教材費248千円(248人分)を補助しました。</p>	○	こども課
②学校教育の充実	<p>(1)町 共図書館と学校図書館とのにより、学校図書館機能の充実に努めます。また、特 有な教育活動を 積極的に推進するため、「小・中学校スクールサポート事業」、「教職員の特 有な教育活動支援事業」のほか、「人 教育研 活動補助事業」などに取り組みます。</p>	<p>・学校図書館支援事業は、町 共図書館とのにより、学校図書館の充実が図れました。年間の、児童・生徒一人当たりの 出冊数が、平成24年度が41.5冊、今年度は42.2冊と増加 向が られます。 ・「小・中学校スクールサポート事業」及び「教職員の特 有な教育活動支援事業」の実施により、各学校の実態に応じたきめ かな教育活動が実施できました。特に、「教職員の特 有な教育活動支援事業」については、今年度3件の研 があり、各校の教員が主体的に授業 を進めようとしていることが え、その全ての研 をサポートすることができました。</p>	○	学校教育課
	<p>(2) (語指導助手)を活用し、保育園から中学校まで一貫した英語教育と、 交流派遣事業として中学生を へ派遣し、 ムステイや現地校での体 学習を通して 化に対応できる人材を育成します。</p>	<p>・小学校5・6年の 語活動の時間においては、各クラス週1回(年間35回程度) つ、また中学校においては、英語科で全てのクラスで週1回(年間35回程度)、 (語指導助手)の活用を図った授業を行うことができました。 イティブの英語にふれる機会の 保と 理解教育の推進を図ることができました。</p>	○	学校教育課
	<p>(3) 応指導教室「ふれあいルーム」で、不登校児童生徒の学校への を支援します。</p>	<p>・ 応指導教室「ふれあいルーム」と学校のにより、ふれあいルームに通えるようになる けでなく、学校への登校回数を増やすことが出来ました。また、学習指導とともに進 指導にも力を い、年度末には全ての中学3年生が 業後の進 を定することができました。</p>	○	学校教育課

<p>③ 化保事業の実施</p>	<p>「本基本計」に基づく入口場やからの内をします。また、時に栄えた酒々井を「酒々井町の」として町の保を続的行い、ての行者間の保を図ります。</p>	<p>平成25年度で予定していた入口場実施計及び対象用地入2件(4)、物件補1件、登がしました。また本へアクセスをするための内のをしました。進捗100%。 まちのづくり推進事業では、法となる「地域化」の登録についての加を行った化保護法の正を実施しました(平成25年10月1日施行)。工事については、地元区からの要が事所にあられたため、予定していたとの調が要となり実施を送りました。</p>		<p>生 学 習 課</p>
<p>④ ウーンの実施</p>	<p>町内へ向けた情報発と、交流人口の増加策として、ボランティアガイとの協働で取り組みます。</p>	<p>9月20日(金)第1回実行委員会開催。 10月18日(金)第2回実行委員会開催。 参加受付10月1日(火)10月18日(金) 10月26日()前日 10月27日(日)開催 一般参加者数91名 (参加募集は150名であったが前日の台風により参加者数がしました)</p>	<p>○</p>	<p>生 学 習 課</p>
<p>⑤ 生学習の推進</p>	<p>化・スポー活動の活性化を図るとともに、人生の節目を福する「新成人のつどい」や60歳をえる方々の「年」を開催します。また、民館主催事業「しすいタウンカレッジ」を末から明治にかけて実在した子の名を用いた「酒々井町」とし、地域づくりに活するまちづくり実者の育成など、「生現役社会」の実現に向けて生学習と住民協働のまちづくりを推進します。</p>	<p>○スポー推進委員による、スポーに組みかけづくりを、健康体力づくり推進員によるウーンを主体とした体力づくりを、体育協会による各種スポー大会を開催し、延べ5,141名(前年度5,011人、130人増加)の参加者がありました。また、年10月より新たにスポー推進委員を中心に「ライトスポークラブ」を立ち上、毎月第2・4水曜日にスポーを中心に実施した。(参加者157人) ○しすい(24名)4月3月末23日間(43講座) ○師(12名)4月3月末23日間(50講座) ○く年とティ・12月8日(日) ○成人(新成人のつどい)1月12日(日)新成人参加者146名 (日)のため中</p>	<p>○</p>	<p>生 学 習 課</p>
<p>⑥ 学校支援の進</p>	<p>地域のボランティアと学校とのをさらに接なものとするため、活動を大室台小学校から全小中学校に拡大して学校教育支援進事業を行います。</p>	<p>○大室台小学校5・6年生ミシンボランティア・クラブ支援などの教育支援及び・英語ルームなどの支援を行いました。参加ボランティア人数延べ280人 ○酒々井小学校英語教材づくり・町検ボランティア・そろばん指導支援などを行いました。参加ボランティア人数延べ145人 ○酒々井中学校体育・場の導・テスト前学習会・校内回検などを行いました。参加ボランティア人数延べ1人</p>	<p>○</p>	<p>生 学 習 課</p>

◆生活 施策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課
①消防・防災事業の充実	日本大 災等の教訓を まえ定した地域防災計画に基づき、消防・防災力の 化に努め、自治会等地域の自主防災組 への防災用機材の無 出しや 所となる小中学校への防災トイレ等の を行います。	<p>①消防団第一分団の消防機 を するため、制付き一般 入 を行ったところ 材の高等により、入 が不調となり、実施できなかったため 年度事業としました。</p> <p>②酒々井町自主防災組 補助金交付要 を制定し、4 団体（ 酒々井 営住宅、 しすい4・5 目、 橋 オポリス、アイビ オ イ ）の自主防災会等へ補助金を交付しました。</p> <p>③災害時にプールの水を 料水等に利用、また、防災井 からの地 水を 化するため、 水を大室台小学校に しました。 なお、各小中学校への防災トイレの については、増 を前に受 が集中したことにより、 が延したため、工 を3月末から5月中旬へ 更して実施する予定です。</p>	○	総課
②中 流域防災事業	災地域住民の不安解消と安全保障を図るため、調節 の 推進に向けて、引き続き議員の のご理解が られるよう説明等を行います。	調節 の については、平成25年12月議会において、「中 調節 にする 」が、町 に 出され、議会の一定の理解を られたものと考えます。 また、開発行 の事前協議や 認 時の口で水 施、水 の指導を行うとともに、水流出 制の を高めてもらうため「 ルール」を説明しています。		まちづくり課
③交通安全・防 事業の推進	自治会やボランティア活動団体との協働による防 対策を推進し、地域のパトロールなどを通じて住民の高 を図ります。	<p>①防 事業は、 、防 組合 合会、防 団体等と協働し、防 ヤン ーン等を実施しました。 また、用 1台を 回 付防 パトロールカーとして しました。</p> <p>②交通安全対策事業は、 交通安全協会酒々井支部、 と協力し、（ は のため中 ）の ヤン ーンを実施するとともに、の補修や交通 の取り まり等について、に要 しました。また、 等の を行いました。</p>	○	総課
④ 施策の推進	個人の住宅用太 発電システムに補助するとともに、町の対策を し、「 家計簿」の 及を進めます。	住宅用太 発電システムを するものに対し補助金を交付しました。 40基分（5, 446千円） 家庭用 料電 システム（エ フ ーム）を するものに対して補助金を交付しました。 1基分（200千円） 定 用リチウムイオン 電 を するものに対し補助金を交付しました。 1基分（200千円）	○	課

◆ 基 施 策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課
①まちづくり施策の推進	町の来及び地利用を明らかにするため、マスタープランのしを行います。また、て住宅の化進のため、診及び修工事にる費用の一部を助成するとともに、水、対策をまえた、住宅リフォーム補助事業を行います。	マスタープランのし計画マスタープラン策定委員会等においての取が、い、のなどを行い、平成26年3月31日付で新しい計画マスタープランが定しました。診費補助6件、352千円の補助を実施しました。修工事費補助5件、250円の補助を実施しました。住宅リフォーム補助21件、1728千円の補助を実施しました。	○	まちづくり課
②町の	通学等の安全保を進め、良事業を進めます。また、交通安全施や防の、理を行います。	交通安全対策事業 町02006は、工事を発し、平成26年度中に成予定です。 良事業 町01011は、交通安全施の一部をき、概工事が成しました。 また、その2については、工実施に向け等業及び用地を実施しました。	○	まちづくり課

◆ 産 業 施 策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課
①工業の	地域の活性化と手後者育成及び工業のを図るための事業を行う町工会に補助金を交付します。	町の工業の健全育成を図ることを目的として、営及事業等(3,800,000円)や地元会員業の営に役立つ事業として地域推進事業(450,000円)や工業者及び業員研修事業等への支援として工会事業に対して補助金を交付しました。	○	課
②業施策の推進	に実施した負担行に基づくや業水等のにる費用の返を進めます。また、営地良事業にる負担金の一部を基金にみ立て、来負担のを図ります。	業用水等の(昭63年度平成20年度:20事業実施)にった費用の平成25年度分26,101千円を返しました。業基基金に平成24・25年度分として、37,240千円をみ立てました。	○	課

<p>③ 施策の推進</p>	<p>「酒々井プレミアム・アウトレット」の開業を機に、地域の発展、観光コースや健康に配慮したの定なども合わせた総合パンフレットを作成します。また、アウトレット内に「酒々井コミュニケーションセンター」を設け、町の物産に関する情報により町内への発展を図ります。</p>	<p>酒々井コミュニケーションセンターが開業し、3月末現在で82,600人が訪れ、くの方に町の力などを情報発信しましたが、接している成では、年間発の拡大が進められており、今後、内からの行者及びトランジットの増加が大にまれることから、町の理及び新たなの発を行い、その的活用方法の分をし、今後の施策に役立てるとともに町の・力・などをとする総合パンフレットを作成し、これまで以上に力な情報発信ールとして活用を図り、より的なプローションを実施します。</p>	○	課
<p>④酒々井ブランドの発信</p>	<p>地域産業の発展、及び町のイメージアップを図るため、地域ブランド品を「酒々井ブランド」として進めるための調査研究を行い、町の活動に積極的に取り組む事業者等を支援します。</p>	<p>①「酒々井ブランド 出会議」の開催（H25年7月、10月開催） ②酒々井ブランド 品づくりと品 1. ゆサイー12,000本・全 2. 酒カレー化粧パック3,000個、業用パック2 4 00、千カレーフア出（7月9月） 3. にんにくカ（しすいよりコラボ）600・（） 4. おつまみラー 600・（） 5. ゆマーマレー（サンプル50）良い原料調達困難。 ③酒々井町ブランド品と酒々井町推品の登録作業 理協会にしブランド推品として認定した品また来認定される品分を特に出する。一部不があり、現在出中で日認予定。 ④ブランド調査員の用（1名） 工会委託事業（6,500千円） ⑤町食マップ（3部）、町タウン情報（2部）、町推品ガイ（8月2部、3月2部）作成 酒々井アウトレットール、などで配付。 ⑥進事業として、ふるさとまつり・新酒まつり・町イチイチ全物産などへの出。知食（ブランド事業のアピール）</p>	○	住民協働課

◆地域社会と行 施策

施策事業名	施策等概要	計画・進捗状況	自己評価	担当課																																													
<p>①住民参加・協働施策の推進</p>	<p>活動のとして「井」の運営・充実を図ります。また、地域住民が主体となって実施する園等の化活動等への支援や生活 工事に要な材等の支給を行うなど、住民活動を支援します。特に、保全活動を行っている地域のさんと町が協働し、生によるまちづくりを実施します。</p>	<p>「井」利用実績（延べ）</p> <table border="1" data-bbox="746 1563 1385 1697"> <thead> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>小計</th> <th>H25合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td> <td>23件</td> <td>27件</td> <td>24件</td> <td>26件</td> <td>22件</td> <td>20件</td> <td>142</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td></td> <td>226人</td> <td>233人</td> <td>216人</td> <td>216人</td> <td>185人</td> <td>187人</td> <td>1,263</td> <td>2,530</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>198人</td> <td>185人</td> <td>220人</td> <td>188人</td> <td>188人</td> <td>222人</td> <td>1,201</td> <td>2,608</td> </tr> <tr> <td>※再掲60歳以上</td> <td>179人</td> <td>177人</td> <td>199人</td> <td>159人</td> <td>156人</td> <td>198人</td> <td>1,068</td> <td>2,253</td> </tr> </tbody> </table> <p>協働のまちづくり研修会 平成25年10月10日実施（参加者）一般28名、職員10名 平成25年11月6日実施（参加者）職員22名 平成25年12月8日実施「く年とティ」 （参加者）一般・職員224名 平成26年1月24日実施（参加者）職員20名、一般2名</p> <p>園等 護活動推進事業認定団体 実施団体 12 団体 実施 園等 14 所 材等支給事業実施実績 実施予定地区 地区実施 4 地区実施 酒々井の 協働 生事業実施実績 実施予定地区 地区実施 2 地区実施</p>		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	H25合計	団体	23件	27件	24件	26件	22件	20件	142	281		226人	233人	216人	216人	185人	187人	1,263	2,530	個人	198人	185人	220人	188人	188人	222人	1,201	2,608	※再掲60歳以上	179人	177人	199人	159人	156人	198人	1,068	2,253	○	住民協働課
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	H25合計																																									
団体	23件	27件	24件	26件	22件	20件	142	281																																									
	226人	233人	216人	216人	185人	187人	1,263	2,530																																									
個人	198人	185人	220人	188人	188人	222人	1,201	2,608																																									
※再掲60歳以上	179人	177人	199人	159人	156人	198人	1,068	2,253																																									

②総合計画の推進	<p>行政運営にあたっては、第5酒々井町総合計画の推進役となるマスコットキャラクターを活用し、町のイメージアップを図ります。</p>	<p>るみにおいては、町内のイベントのほか、隣町のイベントはもとより、生で行われた、ゆるきらサミットや千テレビキャラクター運動会等に積極的に参加しています。</p> <p>また、キャラクターデザインにおいては、町や職員の名、名等への使用や、啓発用としてクリアファイルやバッチなどの作成、「しずいの水」のラールにキャラクターデザインを使用するなど町及びキャラクターをしています。</p>	○	営 画 課
③人施策の推進	<p>人のまちづくりを推進する基料とするための住民調査を実施します。</p>	<p>平成25年8月に無作の20歳以上の住民1,200人に調査を送し、回収率及び分析を行いました。</p> <p>調査を報にまとめ、今後の人啓発活動等の基料として活用していきます。</p>	○	人 推 進 課
④情報理と情報発力の化	<p>内の化を図り、「酒々井」の町名をブランドとするかりとして、町ホームページの語への対応を、町の内にく情報発するための体制化に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの語への対応（英・中・の3か語）100% 各課においてに情報発するためのM（コンテンツマネジメントシステム）の90% 		総 課
⑤の保	<p>平成27年度の評価えに向け、宅地価定の基データを作成するため、宅地の不動産定を行います。また、年動による「地図」の修正を行い、課の正化と事の化を図ります。</p>	<p>地評価においては、法からの通による地図の修正、画地のし（今後も続して実施）、また、平成27年度評価えに向け、基日となる平成26年1月1日時の不動産定による地定評価及びのを実施しました。進捗状況：100%</p>	○	課
⑥化	<p>行政活動の、災害時の防災として役場中央の補と大規模のとして、を進めます。</p>	<p>役場中央の工事の実施にあたって要となるの施としての役もつ（）分の計を発し手しました。</p>		課